



# 碧南ロータリークラブ週報

第2265回例会 平成17年4月20日(水) 晴.最高16.9℃.最低13.3℃

- 会長 池田 弘孝 ●幹事 黒田 昌司 ●SAA 小笠原良治
- 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90  
TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100  
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>  
E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)
- 会報委員 鶴田光久・杉浦昌裕・石川唯司・竹中 誠



## ● 齊唱

ロータリーソング 「今日も楽し」

## ● 本日のメニュー

和風弁当 とんがり帽子

## ● 本日のお客様

安城RC 牟礼研吾君

鶴ヶ崎山車保存会 会長 板倉昭正氏



池田弘孝会長

## 会長挨拶

今年の桜は天候に恵まれ、例年より長く楽しませてくれたような気がしました。その桜花爛漫の葵カントリーで4月14日に三クラブのゴルフコンペが行われました。今回はロータリークラブの主幹で行われましたので、ロータリークラブのゴルフ幹事の皆さんに大変お世話になり有難うございました。おまけに天気もよく暑くもなく最高のゴルフ日和でした。ただ団体成績の方は二位にだいぶ離された三位でした、今後は選手になりうる実力者の皆さんに頑張って頂きますように、次年度の課題として申し送りたいと思います。

桜の花の後、今日は二十四節季の一つ「穀雨」です、立春から七十五日目です。七十二候によりますと初候は「葭始生」次候は「霜止苗」末候は「苗牡丹」とあり、中国では牡丹が花の王者だそうですが、私は桜が好きです、今の中国には問題があります。穀物を育てる雨で、昨秋蒔いた麦などの穀物が慈雨を得て成長し、一方では稻などの春まきの穀類が芽を出してくる季節です。ロータリークラブでも長田昌昇会長年度では「慈愛の種を蒔きましょう」の年度でした。その後当クラブ内で慈愛がすくすくと成長していると確信をしています。

4月24日は「春の家族会」で愛知万博およびロータリ館にての例会です、遠方ですがよろしくお願いします。

※葭始生(あしはじめてじょううず)

※霜止苗(しもやみてなえいづ)

※苗牡丹(ぼたんはなさく)



黒田昌司幹事



長田昌昇君

## 幹事報告

・他クラブの例会変更につきましては、今週はありません。

- ・ロータリーレート変更のお知らせ  
5月1日よりロータリーレートが変更になります。  
現行 102円 → 108円
- ・次週は万博例会です。
- ・5月4日は(水)は法定休日

## 委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数 77名 (内出席免除者 15名) 出席者 56名	
出席対象者 48/62名	出席率 77.42%
欠席者21名(病欠者0名)	前々回修正出席率 100%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

〈ニコボックス委員会〉

- 安城RC牟礼研吾君 お久しぶりです。メーキャップでお世話になります。
- 池田 弘孝君 3クラブのゴルフコンペにはロータリークラブのゴルフ幹事の皆さんに大変お世話になりました。
- 鈴木 並生君 3クラブゴルフ大会ロータリーの部で優勝出来ました。有難うございます。
- 青木 稔君 中日新聞の歌壇に初デビューを果たしました。4月17日(日)の歌壇に尊敬する林きみさんの優秀歌と共に掲載されましたことをうれしく又誇りに思います。  
「ちらほらと咲きゆく梅の白花を かくすか春の白き雪舞う」
- 植松 敏樹君 娘の結婚式でハワイに行ってきました。
- 奥谷 弘和君 鶴ヶ崎玉車保存会にご理解とご支援を賜りまして、ありがとうございます。
- 鶴田 光久君 本日の卓話の講師を紹介させて頂きます。
- 清澤 聰之君 3クラブゴルフコンペ無事済みました。ありがとうございました。
- 堀田 益隆君 今月25日は初孫の2歳の誕生日。ゴールデンウィークに孫をつれて娘夫婦が碧南の我が家を訪問してくれます。
- 早退4件 合計33,000円

## 卓

## 話

### 「愛知万博 山車百輦総揃え見学」

本日はロータリークラブの例会にお招きいただきまして有難うございます。私は鶴ヶ崎区山車保存会の会長をいたしております板倉昭正と申します。宜しくお願い致します。4月24日万博見学で愛知県ウィーク、山車百輦総揃えを中心に見学するため前もって色々知識を頭に入れておきたいとのことでした。そこで鶴ヶ崎の山車を中心にお話をしたいと思います。



板倉昭正氏

皆様は大浜中区の山車及び乱杭渡り人形の事は良くご存知だと思いますが、鶴ヶ崎に山車があった事は余り知られていません。世間に見せる物が無かったからだと思います。(昔は湯取り神事というカラクリがあった) そこで鶴ヶ崎の山車の歴史を少し聞いて下さい。皆様のお手元の資料で鶴ヶ崎区山車、囃子、三番叟の変遷を見て下さい。

万博に山車を百輦展示する事は、どうして決まったか? 平成13年2月頃だと思いますが、万博の碧南市担当者が話をされ「愛知県はカラクリ人形の県であり、物作りの県である」と言うところから始まって行政の方から万博に山車を出す話が出てきたと、説明を受けました。それより前、平成6年に知多・衣浦地区山車祭り交流会議が半田山車まつり保存会が主体で発足し、私達保存会も参加しました。会議の内容は、組織の整備、山車の保存、お囃子、三番叟、カラクリ人形の継承者問題など話し合ってきましたが、平成13年頃から万博に"山車を出したら"の話があ

り交流会議の中心課題になってきた。そして平成14年に犬山まつり保存会、津島山車保存会、半田山車祭り保存会が中心になり、愛知山車祭り保存協議会が設立されました。その時は23市町村35団体で始まり、万博を見据えての協議会となりました。

それと同時期に、県下21市町村長で「愛知山車からくり保存振興協議会」を立ち上げる準備もしていた。愛知山車祭り保存協議会の設立時の話として、35団体で山車の総数は340台も愛知にあると言っていたが…どうか？ そして昨年7月25日行政と民間(愛知山車祭り保存協議会)が一体になり「山車からくり愛知万博プロジェクト実行委員会」が設立され各保存会の最終山車の展示台数が明確になった(山車100輌)。これまでの話の中で展示場所は屋外であるとの事で、各山車組は仮倉庫が出来ないか(雨降りと夜露にぬれると山車が痛む)と大問題になったが、結局山車組で雨対策(カッパを被せる)を取る、また4月22日に雨降りになった場合の出展も各山車組で判断することになった。

それでは会場内に於ける山車の展示場所ですが、皆様のお手元の資料を見て下さい。山車の展示会場は4箇所です。愛地球広場(26台)犬山を中心とした所、日本広場(53台)半田と津島を中心とした所、愛知県パビリオン(8台)西枇杷島を中心とした所。ここはパビリオン屋外舞台両横のガラスケース内に知立の山車が入っている。外から見ると余り目立たないし、日光が入ると乾燥しそうで気の毒である。EXPOドーム(13台)亀崎を中心とした所であるが、ここに碧南市の鶴ヶ崎山車(玉車)と大浜中区山車(中之切車)が展示されています。私達碧南は実行委員会に屋根付き会場内展示を強く要望した。ここに展示する山車13台は屋根があるので、他の山車組が雨で出展を中止しても絶対に展示をする条件である。

4月22日～4月25日帰るまでの行動とパフォーマンスについて、EXPOドーム

- ・4月22日午後2時頃から日通のトラックに山車部品を積み始める。
- ・鶴ヶ崎は4tトラック1台に部品(彫刻、幕、柱) 2tキャリアカー1台に台輪も積む
- ・大浜は4tトラック2台に台輪ゴマ彫刻、柱、幕など積む
- ・会場で山車の組立て時間の制約があり(4月23日午前7時頃まで)鶴ヶ崎は台車を組上げ持ち込むが、大浜は会場内で台輪からすべて組上げる。
- ・4月23日午前9時迄に舞台前に碧南・知立・亀崎の山車が一列に整列しオープニングセレモニーの開演を待つ。
- ・4月24日 13:58～14:06の間に100輌カウントを行う。  
(鶴ヶ崎は役員が祭正装姿で、山車の前に立ちアピールする)
- ・4月25日は留守番の者が日中3名程いますが、夜になって山車解体組がバスに乗って出むき、26日午前4時までに解体・梱包・トラックに積込み、帰路に着く
- ・山神社に着いたら、山車倉庫へ保管終了。

各山車には、自慢したい物があり、見学時は山車組の人間に聞いてみるとよい。(彫刻、幕、カラクリ人形、三番叟など)

鶴ヶ崎玉車は、前壇虹梁の巻龍と手勾欄左右にある金箔の一対の龍、推朱で線彫りの「昇竜・降龍」の四本柱は尾張御用彫師の早瀬長兵衛吉政の代表彫刻である。また上山全体は瀬川治助重定作の彫刻である。彫刻は美しく彩色され文化文政時代の最高の作品とも言われています。



鶴ヶ崎山車(玉車)



覚書

次回例会案内 平成17年5月11日(水)  
クラブフォーラム「地区協議会報告」